

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、
ご利用いただきたくご案内いたします。
当社におきましては皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽を
重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほ
どよろしくお願い申し上げます。

敬白

記

■実施日

平成 22 年10月 1日（金）ご依頼分より

■新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準 値 (単位)	備考
6365 1	倫理指針対象 薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP3A4*1B 遺伝子多型解析	血液 2.0 (EDTA- 2Na加)	C	冷蔵 (3日)	12~23		gFCS 法		本項目はCYP3A4*1B(A-392G)を解析します。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &G
6366 9	倫理指針対象 薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP3A5*3 遺伝子多型解析	血液 2.0 (EDTA- 2Na加)	C	冷蔵 (3日)	12~23		gFCS 法		本項目はCYP3A5*3(A6986G)を解析します。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &G
6364 4	倫理指針対象 MDR1 遺伝子多型解析	血液 2.0 (EDTA- 2Na加)	C	冷蔵 (3日)	12~23		gFCS 法		本項目はMDR1(G2677T/A, C3435T)を解析します。 他項目との重複依頼は避けてください。 本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。 &G

薬物感受性遺伝子検査は、生殖細胞系列遺伝子検査であり、ファーマコゲノミクス (PGx) 検査の指針に沿った運用を実施しております。弊社受託運用にご理解とご協力をお願いいたします。

- 薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP3A4*1B遺伝子多型解析
- 薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP3A5*3遺伝子多型解析
- MDR1 遺伝子多型解析

タクロリムスの薬物動態への影響が考えられる3つの遺伝子多型を検出します。

免疫抑制剤タクロリムスは、臓器移植の成績を飛躍的に向上させた薬剤ですが、治療濃度域が狭く、個人差が大きい薬剤です。個人差が生じる要因は様々ありますが、近年、患者の遺伝的要因、つまり薬物動態に影響を与える遺伝子多型が注目され、研究されています。

肝臓や消化管に存在する薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP3A4、CYP3A5や、薬物トランスポーターのひとつであるMDR1には、遺伝子多型が多数存在していることが知られており、これらの諸因子が複雑に影響を及ぼし、タクロリムスの薬物代謝に関与していると考えられています。

新規受託項目の解析領域

検査項目名	遺伝子型	dbSNP ID
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP3A4*1B遺伝子多型解析	A-392G	rs2740574
薬物代謝酵素チトクロームP450 CYP3A5*3遺伝子多型解析	A6986G	rs776746
MDR1 遺伝子多型解析	G2677T/A	rs2032582
	C3435T	rs1045642

今後、これらの遺伝子多型による個人の薬剤応答性を考慮した治療薬の選択や、投与量の調節が可能となることで、更なる移植成績の向上が期待されます。

▼検査要項

検査項目名	薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP3A4*1B 遺伝子多型解析	薬物代謝酵素 チトクロームP450 CYP3A5*3 遺伝子多型解析	MDR1 遺伝子多型解析
項目コード No.	6365 1	6366 9	6364 4
検体量	血液 各 2.0 mL		
容器	C (EDTA-2Na入り)		
保存方法	冷蔵保存してください。		
保存安定性	冷蔵保存で3日間		
所要日数	12~23日		
検査方法	gFCS法		
基準値			
検査実施料	未収載		
検査判断料	未収載		
備考	本項目はCYP3A4*1B (A-392G)を解析します。	本項目はCYP3A5*3 (A6986G)を解析します。	本項目はMDR1 (G2677T/A、C3435T)を 解析します。
	他項目との重複依頼は避けてください。本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。		

MDR1 : multidrug resistance protein1

●参考文献

- 金城 政孝：蛋白質核酸酵素44（9）：1431~1438，1999。（検査方法参考文献）
 丹波 俊朗：日本薬理学雑誌 128：395~404，2006.